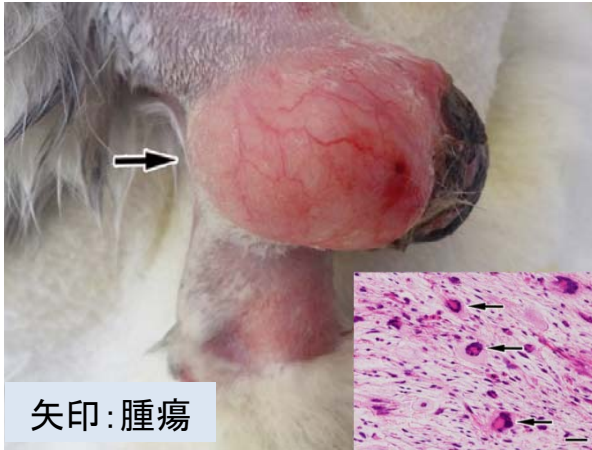


診断病理と実験病理

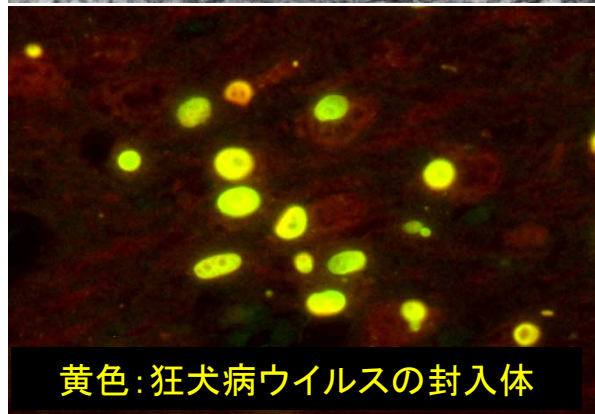


矢印: 腫瘍

感染病理: ウイルス



点線: 狂犬病ウイルス粒子



黄色: 狂犬病ウイルスの封入体

獣医 学科

獣医病理学研究室

KEY WORD

診断病理/実験病理・毒性病理/感染病理

研究 テーマ

診断病理学/動物モデルの研究/感染症の病理発生機序の解明

ミッション

- ・動物の疾患に対する迅速かつ正確な病理組織診断
- ・病態モデルおよび前臨床試験モデルミニブタの開発
- ・狂犬病の病理発生機序の解明と新しい診断法の開発

●教科書に書かれた病気は過去のものであり、目前に苦しむ動物の中に明日の教科書の中身があります。本研究室では、日常の動物の病理検体と真摯に向き合い、最新の診断技術を積極的に取り入れ、迅速かつ正確な病理組織診断法の構築に取り組んでいます。

●獣医臨床やヒト疾患に外挿する病態モデルや前臨床試験モデルミニブタを開発し、さらに異分野融合型研究体制を構築しながら、実験病理・毒性病理学的研究を行っています。

●狂犬病は世界150カ国以上で発生し、年間約6万人が犠牲になっています。本研究室では、発病後のヒトと動物の命を救うためフィリピンの研究者と協力しながら狂犬病の病理発生機序の解明と新しい診断法の開発を目指しています。